

日銀神戸
支店長の
視点

山崎真人氏



最近、金融知識の重要性が従来以上に意識されていると感じています。背景の一つは成年年齢の引き下げです。18歳から金融取引の主体となる若人に正しい知識を伝える必要があります。もう一つは長寿化です。人生100年時代を迎え、長い時間軸でみて生活基盤を支えるお金の価値や投資によって資産を増やしていくことの重要性は増していきます。

誰しも、日常生活においてお金と接する機会は多々ありますが、お金を貯めるための預貯金ならまだしも、増やすための投資となると自信がなくなります(自分もそうです)。世の中には多種多様な金融商品が存在し、一般的には「リスクとリターンを考え

金融知識の向上を図るには

て投資を判断すべし」と言われています。資産運用におけるリスクとは、危険や損失という意味ではなく、リターン(収益)の振れ幅のことです。

すなわち、リスクの大きい商品とは、価格の変動が大きく、「大きく儲かるかもしれないが大きく損するかもしれない」という振れ幅の大きい商品ということです。「リスクは小さいが儲けは大きい」という商品は道理に反しますので、詐欺を疑ったほうが良いでしょう。また、利益をうむ仕組みが理解できない複雑な金融商品に手を出すのも考えものです。

それではどのようにして金融知識の向上を図ればよいのでしょうか。「マネビタ」人生を豊かにするお金の知恵」というeラーニング講座がお勧めです。マネビタとは、「マネー」と「ビタミン」の造語です。講座は、金融庁や金融の業界団体、日本銀行などが協力して作成しています。無料ですので、ご興味のある方は一度視聴されてはいかがでしょうか。